

姉妹都市児童相互交流事業再開へ！

# おおどち 香美市立大柵小学校から 関係者3名が来町

8月23日・24日の2日間、高知県香美市から市立大柵小学校長など3名が来町し、コロナ禍で中断していた姉妹都市児童相互交流事業の再開に向けた町内視察や各小学校訪問を行いました。

令和6年1月に町内小学校6年生の香美市訪問、来年度は夏期・冬期に小学生による相互訪問を実施する予定です。



秋晴れの下で3年ぶりの開催ということもあり、町内の農家や飲食店など13事業所が参加。ジャガイモやカボチャ、トマトなどの新鮮な野菜が軽トラの荷台で販売され、イカや



9月16日、美国小泊海浜公園で積丹町商工会（馬場龍彦会長）が主管する『しんこたん軽トラ市』が催されました。エビなどの魚介類、焼きそばやクレープのほか、町内特産品の格安な提供に町内外から大勢の来場者で、にぎわいました。

- 岬の湯で町民と納涼 -

## まつ おと 積丹フェス「祭りの音」



トによるパフォーマンス、3人制バスケットボールクラブ「HOKKAIDO I W A M I Z A W A F U」による3×3体験会や試合観戦の参加型ブースなどの交流の場が設けられました。また、地域の特産品を生かした飲食屋台やキッチンカーが立ち並び、町民や入浴客でにぎわいました。今年8月新設の展望テラスから臨む野塚漁港から打ち上がる花火が、祭りのフィナーレを飾り、大きな歓声が上がりました。「来年も実施します。お楽しみに！」（実行委員会より）

9月2日、岬の湯しんこたん駐車で積丹フェス「祭りの音」（主催：祭りの音実行委員会）が催されました。当日の日は、ソーラン節発祥の地「積丹」の文化PRの一環としてよさこい演舞、多彩なジャンルのアーティスト

万が一に備えて！

スクールバスに  
「下車確認装置」  
・  
「非常ボタン」  
設置

教育委員会では、小・中学校や保育所の送迎で使用するスクールバス3台に、下車確認装置を設置しました。

この装置は、運行終了後の運転手による車内確認を促すため、エンジン停止後に車内後方のボタンを押さない場合、自動的にサイレンが鳴る仕組みです。

さらに、万が一車内に子供が取り残された場合も、車内の非常ボタンを押すことでサイレンが鳴り、周囲に異常を知らせることができます。

なお、未設置の1台については、新型車両へ更新後に同様の装置を設置する予定です。

▶児童・生徒が押しやすいようバス乗降口に設置された「非常ボタン」



# 北後志消防組合積丹支署

## 消防ニュース

### 診療所と連携強化へ

8月30日に、国保診療所との意見交換会を行いました。診療所からは平田医師と町職員3名、積丹支署は、播磨支署長と8名の職員が参加。町の医療機関と消防機関の間で職員がお互いの顔が見え、より良い協力関係を築くことを確かめました。それぞれが対応する医療現場と救急隊の現場活動のデモンストラーションや、救急車両の見学なども行い、充実した初めての意見交換会となりました。

### 積丹消防団教育訓練

9月16日、富士谷消防団長指揮のもと、「規律の保持」、「迅速秩序のある行動」、「消防技術・地域防災力向上」を目的とした教育訓練を支署庁舎横、新防災倉庫周辺で実施しました。



消防職員15名と、消防団員17名が参加し部隊編成の指導を行う「訓練礼式」、水害に対応するための「水防工法訓練」、自然災害に対応する「新しいB&G財団支援防災資機材を用いた訓練」、各分団による小型動力ポンプ計5台が一斉放水する「模擬火災訓練」の4訓練に臨みました。



▶救急車両の説明・見学  
▲意見交換（デイスカッション）



いつ発生するかわからない緊急事態に備え、消防団員は炎天下の中、汗を流しながら、一連の訓練動作を一つひとつ確認していました。富士谷団長は、「これからも私たちの町は自分たちで守るという強い意志を持って、町民の安心・安全を守るよう、訓練に励んでほしい。」と講評を述べました。

## 「モルック」でみんな元気に！

## 「積丹応援団」の活躍をご紹介します！



津金卓さん  
（美国町）

「モルック」とは？

フィンランド発祥のスポーツで、木の棒1本で12本の木製のピンをボーリングに似た要領で倒し、50点ピットリを競う競技です。なぜ「モルック」を広めようと思いましたが。

たまたまSNSで見かけた時に「お酒を飲みながら遊べる」「場所・年齢問わず楽しめる」というキーワードから、「フィンランドの文化」サウナ・お酒、老若男女問わない遊び「積丹町」の発想がひらめいたからです。積丹町は、「ロケーション」「温泉施設」「こだわりのお酒」など魅力の宝庫です。

移住前に「障がい福祉」に関わっていたこともあり、パラスポーツにも関心があり、いつでも・どこでも・誰でも簡単に、そして気軽に始められる「モルック」を通して全世代「成功体験」を得ることで心も身体も元気になれる遊びを一緒にしませんか？

「積丹らしいモルック交流会」と名付けてレクリエーションを不定期開催されているんですね。

令和3年11月に愛知県名古屋から転入。「高齢者生産活動支援員」として積丹町生産活動センターに勤務する地域おこし協力隊員。『積丹らしさ』にこだわりながら、SNSなどを活用して情報発信するなど奮闘中！



間口を広く開放し、参加しやすさを模索しています。その中で、気づいた方法が、『積丹らしさ』です。木製のためモルックは、木の香りと重みを感じられ、積丹産の白樺を用いた自作のモルックはその象徴です。

また、もう一つの『積丹らしさ』はロケーションです。モルックはスーパリーの買い物かごにすっぽり入る非常にコンパクトな大きさで持ち運びが便利です。フィールドを限定しない「アナログさ」が、自然豊かなこの町にぴったりだと感じています。

「積丹町の縁の下の力持ち」と心に決めた目標に向け、根気強く『積丹らしさ』を誇りに、今後も活動を続けていきます！

協力隊員の傍ら、積丹町の活性化にも積極的に活動している津金さんの活躍に皆さん、注目です！

# まちの日記帳



## 元気いっぱい！

みなと・びくに保育所運動会

9/6 9/9

9月6日にみなと保育所、9月9日はびくに保育所でそれぞれ運動会を開催しました。みなと保育所は園庭、びくに保育所はB & G海洋センターで開催し、かけっこや玉入れ、お遊戯など子どもたち同士で力を合わせ頑張っていました。

それぞれ観客の皆さんに見守られ、子どもたちも笑顔で楽しんでいました。

たくさんのご声援と温かい拍手をありがとうございました。



## オーケストラの迫力！

中学校芸術鑑賞会 兼 町民文化講演会

9/11

美国中学生と町民を対象に、オーケストラ鑑賞会「中学校芸術鑑賞会 兼 町民文化講演会」が美国中学校体育館を会場に行われ、総勢47名が参加しました。

サロンオーケストラ・エイト(埼玉県)の皆様の迫力ある演奏に参加者は聞き入っている様子でした。

また、生徒達は指揮者の体験や、オーケストラによる校歌の歌唱などに積極的に取り組んでいました。



## スマートフォンに慣れよう！

リフレッシュ教室「スマホ&情報アプリ教室」

9/5 9/13

町民を対象に、情報アプリやIP電話について使い方を学び、理解を深めることを目的とした「スマホ&情報アプリ教室」がB & G海洋センターで開催され、2回の開催で延べ13名が参加しました。

参加者がスマホやIP電話について、アプリの使い方、迷惑メールの対処法、カメラ機能の有効活用法など多くの悩み事を質問していました。

スマホをとおした参加者同士の交流も見られ、「知れば知るほど面白かった」「これからもスマホを活用していきたい」といった声を聞くことができました。

